

～ひきこもり整体師のひとりごと～

令和6年3月第29回

自己紹介:楠永洋介

小学校3～4年を不登校、次いで中学校1年2学期～2年生を不登校、義務教育期間中は正味5年程しか登校していません。定時制高校を卒業後、進学、卒業を拒否して祖父の遺したお金でネットスクールや、ワークショップ、FXなどを経験してお金を溶かしました。なんやかんやあって結婚後、2人の子供を授かる。現在、農業、整体業、塾講師等で生計を立てる。

皆様お久しぶりです。楠永です。今月のひとりごと始めていきます。気まぐれにまた日本語で書いていきます。今日は祖母の文章を思い出しつつ…。

何度目かの余命宣告

仰々しいタイトルをつけてみましたが、要は金欠です。しかしそういった意味に於いては私はこれまで何度かの余命宣告を受けてきました。一度目は小学～中学生の頃、もうそろそろ行動を起こさなければいよいよ行き詰まってしまうという予感から。

二度目は高校卒業後、自らの行き場をどこに向けるかという時に。この頃には私には祖父が遺した幾許かのお金がありましたので、それらをパソコンの購入や、株取引口座の開設、古武術の講座への参加費、旅費等の費用に充てて、自分の興味を深めておりました。とはいえ、それは矢張り支払猶予期間の延長でしかなく、次の余命宣告へと繋がっていくのです。

三度目はその後、祖父の残したお金もいよいよ尽きようという頃。母からも尻を叩かれ始めておりました。もう底を付かんとする口座の数字に私はお金を使い始めた頃からは想像出来ない程、ささやかにお金を使い始めておりました。今でもこの頃の事を思い出せば胸がキュウと締め付けられる思いです。

四度目は今、以前の機会に比べれば幾らか貯金（今度は父の遺したお金）があるとは言え、妻、子ども達が居る状況故、このままでは立ち行かなくなるなあという焦りは日々刻々と我が身に迫って来るものです。

私が大事にすべきもの

こういった時に私はどういった行動してきたかなあ。と思い返すのです。もっときちんと表すなら、「行動」というよりも何を「指針」にするかという事を思い返すのです。そうして思うのは、矢張りこれからも私は「お金にならない事」を優先しそうだなあ。と考えるのです。「私が、或いは私に、出来る事」が大事であろうと思うのです。他の方に出来る事は他の方に任せよう。と、そう思います。家族に於いては全くもって迷惑な話かと思えます。ごめんなさいね。

方方で色んな人達の悲鳴や、要請が聞こえてきます。家族を優先して、今まで聞こえてもそちらには手出しは致しませんでした。ですがどうも、そういう訳にはいかないようです。時間も、余り無いように感じます。これを読んでいて何かを感じた方は下記の連絡先に連絡頂ければ出来る限りの対応をさせていただきます。

故山崎瑞子に宛てて

貴女は整体をやろうと思うと言った私に「あなたは人の心の機微もわかるから、そういった所まで汲み取ってあげる整体をやるといいよ」と言いましたね。「ひきこもりの支援のみで食べていくのは難しいから」とも続けました。今、呪い（まじない）の様にその言葉が私の心に反響しております。貴女は私にひきこもり支援に関わってほしそうでしたね。どうもすっかり私はその軌にとらわれている様に感じます。そんな事を言えば貴女きっと「あなたのやりたい事を成しなさい」と言うでしょう。が、短い間に貴女の家に通い詰めひたすらに自分の思いを貴女にぶつけ、そして貴女の反響に耳を傾け、そして今のひきこもり支援の現状を僅かながらに知る私には、貴女のほんの少しののだが確かにそこにある希望に、託したい。という思いが私の周りに、私自身をやんわりと、しかし雁字搦めに捕らえております。私も人には「自分がやりたい事をやれば良いよ」という私ですが、しかしこういった逃げられない柵（しがらみ）もまたある事を知っています。全く、うまく丸め込まれてしまいました。この文章をしたためておりますと、瑞子女史は何処かから「そんなに無理するにようばんぜ」と私に語りかけますが、私は貴方のその瞳の奥が何時だって頑として譲らない厳しさを湛えていた事も知っています。手の内を知り尽くした相手同士には建前は通じませんね。困ったものです。そう私が言えば貴女はいつもの様に困った顔で笑うのでしょうか。こんな経緯でまた貴女との邂逅を果たすとは思いませんでした。まだまだ心配をかけているかも知れませんね。まあお互い何とかかなりますように…。

2024/02/19

於 いの町病院待合室

楠永 洋介

御案内

感想、質問頂けると励みになります。また仕事の依頼（整体等）頂けると生きる糧になります。整体に関してはホームページ等覗いて見てください。

緑陰整体指導研究室

ホームページ

<https://ryokuinseitai.business.site/>

ご意見、ご感想、ご依頼は下記にお願いいたします。

電話番号

090-4979-6409

メールアドレス

ryokuin.seitai@gmail.com